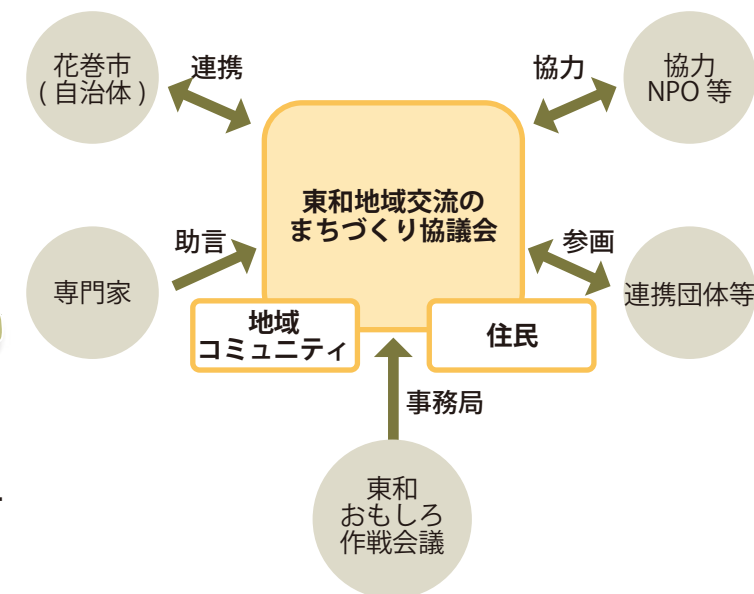
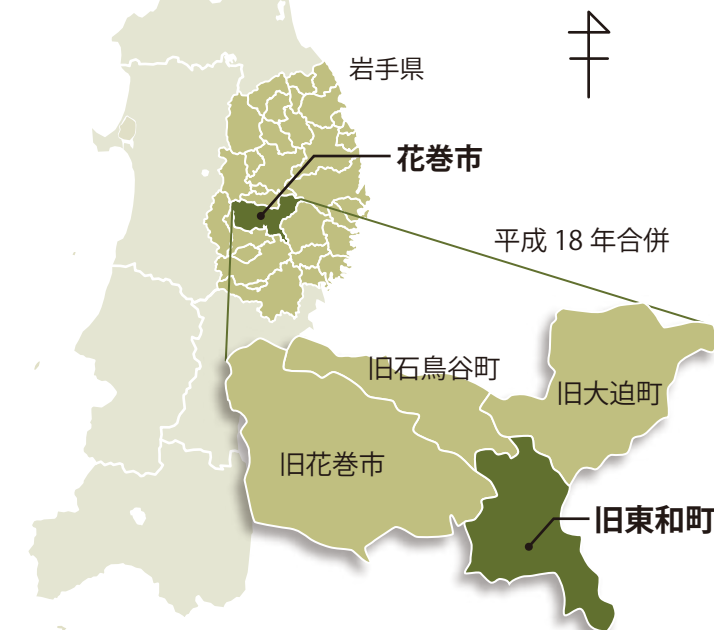


位置図 推進体制



年次計画

		30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
地域を語れるまちになる	No.1 東和語り部 100人育成作戦	農旅サポーターズ ●登録開始	●活用と研修	●継続	●継続と検証	●見直し後の運用
	東和学	●企画準備	●開校	●継続	●継続と検証	●見直し後の運用
楽しいまちになる	No.2 東和ふるさとこども倶楽部展開作戦	●学校、コミュニティ会議など関係機関と協議 ●実行組織設立	ふるさとこども倶楽部 ●試行(一部地域学年など)	●本格実施	●継続と検証	●見直し後の運用
	No.3 東和ワカモノ応援本気作戦	定例ツアー ●モデルツアー 新イベント ●検討	●定例ツアー化 ●実施	●継続	●継続と検証	●見直し後の運用
外の応援団とつながり元気なまちになる!	No.4 東和まちじゅうこびりカフェ作戦	●こびりカフェ設置策の検討 ●モデルツアーでの試行	●サポーターズ内のこびり部結成 ●こびりマップ作成	●こびりカフェ拡大 農家レストラン ●空き家活用等の検討	●準備	●開業
	No.5 東和移住者だヨ! 全員集合作戦	●移住者交流会 ●移住者と住民等のワークショップ	●岩手の大学生との共同企画 大学生の自主サークル ●検討開始	●活動開始		
	No.6 東和農旅ふあんくらぶ活動作戦	お土産 ●検討ワークショップ ふあんくらぶ会員 ●募集準備	●お土産試作 ●募集開始	●本格製作・販売 ●会員への宅配 ●ネット通販開始	●継続	●継続と検証

東和地域交流のまちづくり協議会

推進計画の本体をご覧になりたい方はお問合せください。

【連絡先】東和おもしろ作戦会議(法人化検討中)

〒028-0114 岩手県花巻市東町土沢5区372

電話 0198-29-6500 FAX 0198-29-6501

Mail omoshiro@leaf.ocn.ne.jp

HP http://touwa-noutabi.blogspot.jp/

このパンフレットは農山漁村振興交付金(農泊推進事業)により作成しました。
デザイン・協力: NPO 法人いわて地域づくり支援センター

東和農旅推進計画 概要版

わたしたち「東和交流のまちづくり協議会」は、東和を交流でもっと楽しくしようと活動している団体です。東和の素敵な暮らしや受け継がれた文化を、都会の人びととも一緒に楽しみ、守り伝えたい。そんな思いで、住民有志、関係団体、行政などが協力しあい、1年かけてこの「東和農旅推進計画」を作りました。その内容を、わかりやすくご紹介します。



いわて花巻

2018年「東和農旅」はじまります

Q 農旅ってなに?

農村に滞在し、その土地ならではの食、ふれあい、受け継がれた文化などを楽しむ旅です。「農泊」とも言いますが、「東和農旅」は東和地域オリジナルの新しいことばです。

Q なぜ農旅に取り組むの?

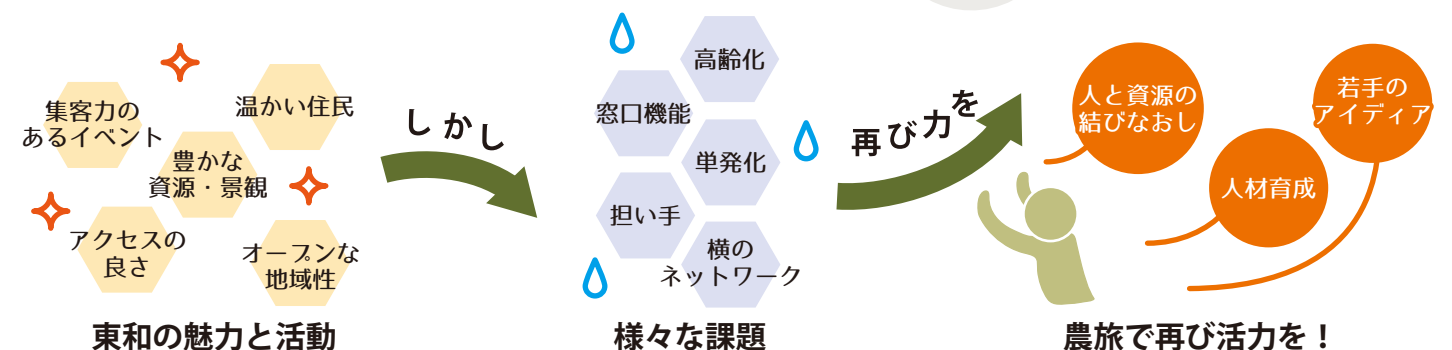
東和地域は以前から都市との交流が盛んでしたが、近年は受入れ農家の高齢化や活動低下が課題になっています。人や自然、歴史など東和の豊かな資源をもう一度見つめなおし、訪れる方とともに楽しむため、農旅に取り組めます。

Q 農家にお客様を泊めるの?

古民家などを活用した農家民泊も1つの人気スタイルですが、東和地域ではホテルフォルクローロ、東和温泉など元々ある施設も生かしながら、農家の負担が大きくなならないかたちをめざします。

Q 誰が農旅の取組みを進めるの?

東和地域交流のまちづくり協議会を中心に、行政、地域、事業者の皆様と連携して、各種助成のほか自主財源の確保にもつとめながら計画の実現をめざします。



2017年 取組みのスタート

6月

協議会の設立

住民有志、関係団体、行政などで活動の母体を設立しました。



8月

農泊学習会

まずは勉強しよう！
先進地の取組みに熱心に耳を傾けました。



9～10月

農泊ワークショップ

どんな農旅をめざす？若い人も加わり、皆で知恵をしぼりました。



12月

東和農旅シンポジウム

東和地域の魅力ある資源を内外にPRし、農旅への理解と意欲を高めるシンポジウムを開催しました。



人材育成

企画や運営、マネジメントを担う人材の育成のため、先進地への視察や研修も行いました。



1月

農旅マップづくりWS

PRツールとして活用する「東和農旅マップ」の原案を住民たちで意見を出し合って作りました。



相談窓口の開設

農旅や移住のことについて相談できる窓口を、土沢商店街内に開設しました。こびりや小物づくりなども体験できますよ！



2018年～ プロジェクトの具体化

これまでの取組みを通じて、東和農旅のめざすものがはっきりしてきました。取り戻したいのは、地域に住もうわたしたちの「自信、誇り、そして心の活力」。なにより地域を愛する笑顔が、一番のブランドだからです。今後、次の3つのコンセプトに沿ってプロジェクトを進めていきますので、興味ある皆さんはぜひ一緒にしましょう！

concept 1

地域を語れるまちになる

プロジェクト 1

東和語り部 100人育成作戦

東和には「お話名人」「こびり名人」など、たくさんの達人がいます。まちを訪れた方に、みんなで地域の宝物を語りましょう。「東和大好き」な方、まずは「農旅サポーターズ」に登録しませんか？



プロジェクト 2

東和ふるさとこども倶楽部展開作戦

地域を語れる子どもを育てる。それは地域の未来につながる大切なテーマです。小中学校や地域コミュニティと連携し、子どもたちの地域活動を応援していきます。



concept 2

いつ来ても楽しいまちになる

プロジェクト 3

東和ワカモノ応援本気作戦

東和のワカモノは本当はすごい。地域への思い、仲間のネットワーク。若者が本気を出したら地域が変わります。まずは新しいモデルツアーやイベントと一緒に汗を流すところから始めましょう！



プロジェクト 4

東和まちじゅうこびりカフェ作戦

東和の女性も本当はすごい。得意の食やおもてなしで、来訪者がほっとくつろげるスペースがあることは農旅の大きなポイントです。空家などの地域資源と、意欲のある方をつなげていきます。



concept 3

外の応援団とつながり元気なまちになる！

プロジェクト 5

東和移住者だヨ！全員集合作戦

東和は、移住・Iターンが多いまち。移住者どうしの交流や、地域住民とのゆるやかなネットワークを作って移住志向の大学生の受入れなどの交流を企画します。



プロジェクト 6

東和農旅ふぁんくらぶ活動作戦

お土産の開発、年間を通じてた宅配会員制など、外からの視点を生かして東和の魅力を売りに出します。モノに限定せず、「東和農旅利用券」や「こびり体験券」など、みんなで考えましょう。

